

NEWS RELEASE

**子どもたちが「未来の新鹿のまち」をマイクラでつくります
～マイクラカップ 2026 チャレンジ企画を新鹿公民館で開催～**

三重大学生物資源学部フードシステム学研究室は、新鹿未来のまちづくり推進委員会と共催で、この度「新鹿の未来のまちをマイクラでつくろう！」を開催いたします。本イベントは、高校生以下の子どもたちが町の方々から新鹿の「いいところ」「こまりごと」「ゆめ」を直接聞き取り、そのアイデアをマイクラの世界で建築として形にする一日型のプログラムです。参加費は無料で、パソコン未経験の方や見学のみの方も歓迎します。

新鹿地域では人口減少と高齢化が進むなか、地域の将来像をどう描くかが課題となっています。本企画では、その将来像を考える主体に子どもたちを位置づけ、町の方々との対話を出発点とする点に特徴があります。マイクラを用いることで、専門的な設計知識がなくても自分のアイデアを立体的に表現でき、世代を越えた対話が生まれやすくなります。

また本イベントは、「ヒアリング → アイデア立案 → 建築による具現化 → 発表」という探究のプロセスの小さなサイクルを一日で回す構成としており、夏休みの自由研究や高校の総合的な探究の時間の成果物として活用できます。まとめ方は本学スタッフが支援します。当日制作した作品は「マイクラカップ 2026」（大会テーマ「みんなが輝く！β世代の未来のまち」、応募締切 令和8年9月7日）への応募作品に発展させることができ、地区予選を勝ち抜くと令和9年2月に東京大学で開催される全国大会へ進みます。

つきましては、下記のとおり開催いたしますので、ご取材いただきますようお願い申し上げます。

記

日 時	令和8年8月9日(日) 11:00 ～ 15:00
場 所	新鹿公民館(三重県熊野市 634-3)
対 象	高校生以下とそのご家族、新鹿の町民の皆さま
参加費	無料
内 容	午前 11:00～12:00 制作物紹介&まちのヒアリング会(要事前申込) 午後 13:00～15:00 町の人といっしょにマイクラまちづくり(当日参加可・申込優先)
主 催	新鹿未来のまちづくり推進委員会／三重大学生物資源学部フードシステム学研究室

■本件に関するお問合せ

国立大学法人三重大学生物資源学部 フードシステム学研究室 内藤 啓貴

E-mail : naito@bio.mie-u.ac.jp TEL : 059-232-9598

(申込・現地担当)新鹿未来のまちづくり推進委員会 喜田 裕一郎・大崎 和利

新鹿の未来のまちを マイクラでつくろう！

町のみなさんの声を聞いて、マイクラフトの世界に
「未来のあたしか」を建てて一日。大会テーマは
「みんなが輝く！β世代の未来のまち」。

めざせ！

全国大会は 東京大学

2027年2月の大舞台へ、
ここから挑戦がはじまる。

2026年
8.9

日曜日

会場：新鹿公民館 11:00-15:00

参加対象：「高校生以下」とご家族・町民のみなさん

午前 11:00-12:00 ※要事前申込

制作物紹介&まちのヒアリング会

これまでにつくったマイクラの作品
をご紹介します。そのあと町のみなさんと
対話して、新鹿の「いいところ」

「こまりごと」「ゆめ」を子どもた
ちが聞き取ります。町民のみなさん
、ぜひお話を聞かせてください。



新鹿のまちなみ・海岸

午後 13:00-15:00 ※当日可・申込優先

町の人といっしょにマイクラまちづくり

午前に聞いたアイデアをもとに、町の人といっしょに
マイクラフトで未来の新鹿を建築！ はじめてでも
スタッフがサポートします。初心者・見学也大歓迎。

第8回マイクラカップ 大会テーマ

みんなが輝く！β世代の未来のまち

人口・年齢のバランスが変わる社会をどう生きる？

マイクラカップとは？

マイクラカップは、高校生以下の子どもたちが「教育
版マイクラフト」を使って、大会テーマに沿った作
品をつくるデジタルものづくりの大会です。

出典：マイクラカップ 大会公式サイト
<https://mccup.jp>



※ パソコン未経験でも参加できます。マイクラが初めて、見学だけでも大丈夫！

※ 各自、往き帰りの交通安全、熱中症対策には十分ご注意ください。

主催：新鹿未来のまちづくり推進委員会 / 三重大学生物資源学部フードシステム学研究室

お問い合わせ・お申し込み：喜田裕一郎・大崎和利

naito@bio.mie-u.ac.jp (三重大学・内藤啓貴)

この一日が、「探究」になる。 そして、進路につながる。

遊びで終わらない。中高生がこのイベントに参加する3つのメリットをご紹介します。

1

夏休みの自由研究・探究活動として、そのまま完成する

「町の課題を聞き取る（ヒアリング）→アイデアを考える→マインクラフトで形にする→発表する」。この一日には、課題発見から解決提案までの探究のプロセスがまるごと入っています。学校の総合的な探究の時間や夏休みの自由研究として、完成された成果物になります。

2

大学入試（総合型選抜）のアピール材料になる

三重大大学の総合型選抜では、探究活動・地域活動の実績を「志願理由書」や「活動報告書」に記載して評価を受けます。特に生物資源学部の「総合Ⅰ-紀伊黒潮枠」は、紀伊黒潮地域（東紀州を含む）の地域課題を理解し、地域共創に強い関心・意欲を持つ人を求める入試です。

出典：三重大大学 令和9年度総合型選抜学生募集要項（活動実績の証明書類は本イベント主催者が発行できます） <https://www.mie-u.ac.jp/exam/faculty/guidelines/index.html>

3

マイクラカップで全国をめざせる

この日つくった作品は、マイクラカップ2026（テーマ「みんなが輝く！β世代の未来のまち」）への応募作品に発展させられます。地区予選を勝ち抜けば、2027年2月・東京大学での全国大会へ。町のみなさんの声から生まれた作品で、大舞台に挑戦しよう。

※ 探究活動のまとめ方（レポート・スライド）は三重大大学のスタッフがサポートします。

※ 当日の活動記録（写真・成果物）は参加者にお渡しします。自由研究の提出にそのまま使えます。

主催：新鹿未来のまちづくり推進委員会／三重大大学生物資源学部フードシステム学研究室

賛助：熊野市教育委員会 三重大大学「翠の環学」採択プロジェクト

お問い合わせ・お申し込み：喜田裕一郎・大崎和利
三重大大学・内藤啓貴 naito@bio.mie-u.ac.jp